

平成29年2月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 平成29年2月24日(金) 午後1時00分～午後3時01分  
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室 F  
3. 出席者 教育長及び委員

教育長 高澤 茂夫  
委員 武井 紀夫  
委員 長谷部理絵  
委員 吉田 一雄  
委員 渡部 佳子

職 員

教育部長	堀切 由彦
教育部次長兼教育総務課長	齊藤 良二
教育部参事兼施設課長	勝畑 成一
教育部参事兼学校教育課長	廣部 昌弘
教育部参事兼文化課長	山口 玲子
教育部参事兼図書館長	渡邊 雅夫
教育部参事兼中央公民館長	石井 一彦
学校給食課長	岡田 正浩
生涯学習課長	秋元 淳
まなび支援センター所長	篠田 薫
郷土博物館金のすず副館長	半澤 隆
(会議事務局) 教育総務課主幹	平野 和彦
教育総務課主任主事	時山みゆき

4. 傍聴人数 4名

5. 議 案

議案第4号 木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画の策定について

6. 報告事項

報告第1号 臨時代理の報告について

市議会の議決を要する事件の議案(平成28年度教育費3月補正予算案)について

7. 議 事 大 要

**○高澤教育長**

定刻となりましたので、平成29年2月定例教育委員会会議を開催いたします。

会議録署名人には、吉田委員にお願いいたします。また、前回1月の定例会議の会議録につきましては、長谷部委員と私で、それぞれ確認、署名いたしました。

それでは、本日の会議の開催にあたり、傍聴人がいらっしゃいますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定による会議の公開の可否につきまして

して、委員の意見を求めます。

お手元の会議次第でございます本日、その他として事務局から説明が予定されている案件のうち「木更津市人口急増地区における通学区域の見直しに関する基本方針（素案）に係る意見公募について」、「真舟小学校校舎増築事業について」、「学校給食を活用した地域活性化事業の実績について」、「平成30年木更津市成人式実施方針について」、「木更津市立少年自然の家キャンプ場施設の一部使用中止について」が木更津市教育委員会会議規則第12条第2号としてはじめに市議会へ報告する案件に、「教育部内の組織の見直しについて」が同条同号として今後、庁内関係各課等と調整のうえ公表される案件に、また、「平成29年度教育委員会に係る重点目標・施策（素案）について」が今後、委員の意見等を伺い、事務局において3月定例会議に提案を予定している案件となることから同条第4号の非公開とすることが適当と認められるものとし、以上7件を非公開といたしたいかがでしょうか。

<意見なし>

それでは、採決に移ります。その他として事務局から説明が予定されている案件のうち提示させていただきました7件を非公開とすることに賛成の方、挙手をお願いします。

<挙手全員>

賛成全員により、当該その他案件は非公開とさせていただきます。

それでは、議案の審議に入ります。

議案第4号「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画の策定について」を議題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

### ○齊藤教育部次長

議案第4号「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画の策定について」の提案理由をご説明申し上げます。議案資料2ページをご覧ください。

本議案は、木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針に基づき、計画的に学校の適正規模及び適正配置を進めるため、木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画を策定しようとするものであり、木更津市教育委員会組織及び運営規則第5条第1号の規定により、議決を得ようとするものでございます。

別冊「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画」の1ページをご覧ください。本計画は、平成23年10月に策定いたしました木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針において、「児童生徒数の推移を見ながら、統合を含めて対応を検討します」とされております、東清小学校、富岡小学校、中郷中学校、岩根西中学校の4校に関する具体的な実施計画でございます。実施の時期につきましては、平成28年度から平成31年度までの4年間といたします。適正配置実施の対象4校につきましては、これまで、学校の実態に応じて小規模特認校に指定するなど対応を図ってまいりましたが、中には教育環境の維持、学校運営の継続が危惧される状況がございます。そこで、適正配置の進め方でございますが、対象校のうち、「複式学級が生じた」あるいは「複式学級が生じる懸念がある」学校について、住民説明会の開催、統合準備会

の設置、校舎等の跡地活用に留意し、統合を実施することといたします。

2 ページをご覧ください。各対象校の児童生徒数についてご説明いたします。

はじめに、東清小学校ですが、平成32年度以降、複式学級が生じる見込みでございます。なお、複式学級につきましては、県の学級編制基準において、小学校の場合、1, 2年生の児童数の合計が8名以下である場合、2年生から6年生までの間の連続する2つの学年の児童数の合計が16名以下の場合に編制するとされております。

3 ページをご覧ください。次に、富岡小学校でございますが、平成31年度に1, 2年生、3, 4年生、5, 6年生で複式学級が3学級となる見込みでございます。

4 ページをご覧ください。次に、中郷中学校ですが、ここ数年、部活動等を理由に中郷小学校からそのまま入学しない生徒が増加し、入学生徒は、平成26年度が中郷小学校卒業生10名に対し2名、平成28年度が17名に対し3名、このうち1名は小規模特認校制度活用生徒という状況でございます。平成29年度以降も同様の事態になる可能性があり、平成31年度以降は、中郷小学校の卒業生が10名以下になるため、更なる減少が懸念されます。

5 ページをご覧ください。次に、岩根西中学校ですが、同校につきましては、平成33年度まで1学年2学級で維持していただける見込みでございます。

6 ページの「統合までのスケジュール」をご覧ください。以上の状況を鑑みまして、富岡小学校、中郷中学校の2校を平成30年度末をもって統合といたしました。また、東清小学校と岩根西中学校については、引き続き児童生徒の推移を注視するとともに、東清小学校については、次期計画の中で対応を検討してまいりたいと考えております。

7 ページをご覧ください。統合の方法につきましては、中郷中学校は清川中学校と、富岡小学校は馬来田小学校との統合となります。ただし、中郷中学校につきましては、「平成29年度入学者が5名以下で、1, 2年生が複式学級となり、特別支援学級を含め、全校で3学級が維持できない場合は、平成29年度末統合とします」といたします。本計画の素案におきましては、この箇所は「平成29年度入学者が5名以下で、1, 2年生が複式学級となる場合は、29年度末統合とします」としておりました。その理由といたしましては、中学校の場合、県の学級編制基準において、続く2つの学年の合計生徒数が8名以下となった場合に複式学級となります。また、全校で3学級に満たない場合は、養護教諭や事務職員を配置しないという規定があり、教頭配置についても協議の対象となります。そうなった場合、学校として機能しないと考えております。当該箇所を変更した経緯といたしましては、教職員の配置に関して千葉県と協議したところ、特別支援学級を含め、全校で3学級が維持できれば、教頭・養護教諭・事務職員の配置は行うとの見解が示されたことによるものでございます。

以上が木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画の内容でございます。

次に、左上に参考1と記載のございます資料をご覧ください。本計画の策定にあたりましては、意見公募を実施しておりますので、市民への公表時には意見公募期間中に寄せられましたご意見に対する市の考え方を策定した計画に添えて公開することとなります。

意見公募の結果につきまして、18名から40件のご意見が提出されました。提出さ

れた意見のいずれも中郷中学校の現状維持を希望するというものでございました。意見に対する市の考え方につきましては、「中郷中学校の統合の検討は、平成23年10月に定められた基本方針の中に既に明記されており、これまで中郷小学校の耐震関係の説明会や様々なやり取りの中で状況説明をし、保護者・地域の意見を聞き、意向調査等も実施し、慎重に検討を重ねてきた経緯があります。その結果、クラス替えもでき、多くの教師、友だちと出見え、教育活動の中で様々な選択ができる規模の学校に統合するという決定をいたしました。」とさせていただきます。

詳細につきましては、恐れ入りますが、お手元の資料でご確認お願い申し上げます。

また、参考2といたしまして、陳情文書表をお手元に配付させていただきました。こちらにつきましては、「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画（素案）に関する陳情書」として現在会期中の3月市議会へ提出されたものでございます。

なお、本陳情につきましては、3月8日の教育民生常任委員会におきまして、審議が行われる予定となっております。

説明は以上でございます。

#### ○高澤教育長

ただいま、事務局から提案理由の説明がありました。この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

#### ○長谷部委員

中郷中学校の平成29年度入学予定者は何名でしょうか。

#### ○廣部教育部参事兼学校教育課長

2月21日現在で普通学級が6名、特別支援学級が1名の合計7名でございます。

#### ○高澤教育長

ほかにご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

#### ○吉田委員

パブリックコメントに多くの統合反対との意見が寄せられましたが、中郷中学校への進学者数を伺うと、地元住民の方も中郷中学校に進学させたいと思っていないような印象を受けます。地元の方のご意見はわかりますが、現実の問題として中郷中学校に進学させていません。進学させた場合、複式学級になると教育環境が低下し、大変な損失になると思われる。教育的な観点から言えば、統合する方が多数の中で子どもたちが鍛えられますので、望ましいと考えます。

#### ○高澤教育長

ほかにご意見はございますでしょうか。

#### ○長谷部委員

中郷中学校の統合の問題の1つとして中郷小学校の耐震関連事業の問題が発端としてあります。そこから4年以上経ちます。中郷小学校の今後について話し合い、その中で中郷小中学校を併設するという案もありましたが最終的には中郷小学校を単独で建設すると決まりました。

中郷小中学校の児童生徒は、合同で運動会を行っていて、地域の核として学校を考える方向と、木更津市の子どもたちに同じレベルの教育を提供する方向とで色々な見方が

あると思います。その中で教育委員会でも一生懸命考え、議論をいたしました。中郷小学校は新たに建設しますので、地域の核としての学校は残ります。そのうえで先ほど吉田委員もおっしゃったように、子どもたちが部活動や修学旅行等を通して多くの人に揉まれることは必要です。現在は生徒より先生の方が修学旅行に行く人数が多いようですが、多くの生徒同士で協力し合って修学旅行を成し遂げ、その中でリーダーになる人がいるというような経験も必要だという話を前教育長としたこともあります。

今回の統合に関しましては、中郷中学校だけではなく、富岡小学校に関しても十分年月をかけて議論し、考えてきた結果であると改めて思っています。

### ○高澤教育長

ほかにご意見がなければ、採決に移ります。議案第4号「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画の策定について」につきまして、原案どおり賛成の方、挙手をお願いいたします。

<挙手全員>

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

以上で、本日予定しておりました議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告事項に移ります。報告第1号、臨時代理の報告について「市議会の議決を要する事件の議案（平成28年度教育費3月補正予算案）について」事務局から説明をお願いいたします。

### ○齊藤教育部次長

報告第1号、臨時代理の報告について「市議会の議決を要する事件の議案（平成28年度教育費3月補正予算案）について」ご説明申し上げます。議案資料3ページをご覧ください。

この報告は、木更津市教育委員会組織及び運営規則第6条第1項の規定により、教育長の臨時代理により処理を行いました案件に関するものでございます。

8ページをご覧ください。3月市議会定例会に提案する教育委員会に係る平成28年度3月補正予算案につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、平成29年1月27日付けで市長から教育委員会教育長に対し、意見の聴取がございましたが、3月市議会定例会の日程を勘案すると開催までに教育委員会会議を招集する暇がございませんでした。そのため、4ページにございますとおり1月31日付けで教育長の臨時代理で処理をし、5ページのとおり「意見なし」と回答いたしましたので、木更津市教育委員会組織及び運営規則第6条第2項の規定により報告するものでございます。

それでは、教育委員会に係る3月補正予算案の概要につきまして、ご説明申し上げます。

6ページをご覧ください。はじめに、歳入でございますが、表の一番下にございますとおり6,726万4,000円を減額し、補正後の予算額を10億4,014万5,000円にしようとするものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。次に歳出でございますが、こちらは表の上か

ら4行目にございますように、50款 教育費を305万円増額し、補正後の予算額を43億4,579万2,000円にしようとするものでございます。

3月補正予算につきましては、1月定例教育委員会会議におきましてその要求内容をご説明させていただいたところではございますが、各課等における主な減額分につきましては、入札差金等各種事業実施における執行残でございます。

また、歳出の増額分につきましては、一般寄附金、ふるさと応援寄附金等の受入に伴う各種事業費の増のほか、補正予算要求後、財政課との協議・調整により見直しを行った中郷小学校建設事業費の増が主なものでございます。

26ページをご覧ください。ただいまご説明いたしました資料中ほどの10項 小学校費 15目 学校建設費の説明欄1. 施設建設事業費の(2)中郷小学校建設事業費1億2,726万8,000円につきましては、平成29年1月の国庫補助金の追加内示により、屋内運動場改築工事に関する補助金の交付が前倒しとなったことから、予算書上には表れませんが、交付金額に見合う事業費を確保するための1億5,669万5,000円の増額と、実施設計などの委託料の執行残として2,942万7,000円の減額分を相殺した1億2,726万8,000円の補正予算として計上したものでございます。

その他詳細につきましては、歳入につきましては9ページから23ページで、歳出につきましては24ページから31ページで、それぞれご確認をお願いいたします。

続きまして、継続費、繰越明許費、地方債の補正の内容につきましてご説明申し上げます。

はじめに継続費についてでございますが、32ページの第2表 継続費補正をご覧ください。50款 教育費 10項 小学校費の中郷小学校建設事業費に係る補助金の追加内示に伴い、事業スケジュールの変更を行い、これまで平成28年度から平成29年度までの2カ年の継続費としていたものを、平成28年度から平成30年度までの3カ年の継続費として設定しようとするものでございます。

続きまして、繰越明許費について、ご説明させていただきます。34ページの第3表 繰越明許費補正(追加)をご覧ください。表の下から2行目の50款 教育費 10項 小学校費の祇園小学校屋内運動場及びプール改築工事費2,460万2,000円につきましては、平成28年度に実施する予定であった既存プールの解体工事に係る経費でございます。この事業に伴う国庫補助金の交付決定が平成28年11月16日であったため、事業全体にも遅延が発生し、年度内の完了が難しいため繰越明許費を新たに追加しようとするものでございます。

続きまして、35ページの第3表 繰越明許費補正(廃止)をご覧ください。50款 教育費 10項 小学校費の中郷小学校建設事業費9,700万円につきましては、先ほど説明いたしましたとおり国庫補助金の追加による事業スケジュール変更に伴い、継続費を2カ年から3カ年に変更したことから、繰越明許費が不要となったため、廃止としたものでございます。

続きまして、地方債についてご説明申し上げます。36ページの第4表 地方債補正をご覧ください。表の下から2行目、大規模改造事業費(小学校債)でございますが、こ

ちらにつきましても、中郷小学校建設事業費に係る国庫補助金の追加内示に伴い、事業スケジュールを変更したことから、1億7,290万円から3億5,930万円に限度額を変更しようとするものでございます。

以上が、教育委員会に係る3月補正予算案の概要でございます。

なお、この3月補正予算につきましては、3月市議会定例会本会議2日目の2月20日に審議が行われ、原案どおり可決されましたので、あわせてご報告申し上げます。

説明は以上でございます。

## ○高澤教育長

ただいま、事務局から説明がありました。この件につきまして、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

<質問・意見なし>

なければ、報告事項につきましては以上といたします。

続きまして、その他の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

### 【その他、事務局連絡・報告事項】

- ・木更津市青少年問題協議会委員の委嘱について

説明：秋元生涯学習課長

<傍聴人退室>

- ・木更津市人口急増地区における通学区域の見直しに関する基本方針（素案）に係る意見公募について

説明：廣部教育部参事兼学校教育課長

- ・真舟小学校校舎増築事業について

説明：勝畑教育部参事兼施設課長

- ・学校給食を活用した地域活性化事業の実績について

説明：岡田学校給食課長

- ・平成30年木更津市成人式実施方針について

説明：秋元生涯学習課長

- ・木更津市立少年自然の家キャンプ場施設の一部使用中止について

説明：秋元生涯学習課長

- ・教育部内の組織の見直しについて

説明：齊藤教育部次長

- ・平成29年度教育委員会に係る重点目標・施策（素案）について

説明：齊藤教育部次長

<傍聴人入室>

- ・平成28年度木更津市郷土博物館金のすず 企画展「博物館でファッションショーを〜スズコレ2017spring〜」の開催について

説明：半澤郷土博物館金のすず副館長

## ○高澤教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

## ○渡部委員

先日、中央公民館で行われた研究集会に参加した際に、フロアに市内各地区の情報がまとまった模造紙が展示してありました。このような木更津市の現状に関する展示物を博物館か公民館で展示できないでしょうか。木更津市の良いところが載っていたので、展示する機会があると良いと思いました。

## ○石井教育部参事兼中央公民館長

先日行われました公民館研究集会ですが、テーマを木更津の魅力再発見とし、それぞれの地域において、公民館職員を中心に地域の食、見所や歴史を紹介しようということで展示物を作成してロビーに展示しました。公民館では郷土史講座や健康教室の事業等を行っておりますので、その中で地域の方と新たな地域の魅力を発見していこうというようなテーマで展示物を作成しました。

## ○半澤郷土博物館金のすず副館長

博物館では、各展示室ごとのテーマに基づいて常設展示を行っております。地域の調査研究の成果につきましては、企画展において発表できるようにしておりますので、企画展の中で取り入れていければと考えております。また、講演会等も企画しておりますので、多くの方に出席していただいて木更津市の良いところを発信していけたらと考えております。なお、来年度は真里谷城の関係の展示を予定しております。

## ○渡部委員

研究集会に来られた方の発言や意見を市の観光に結びつけられたら良いと思います。例えば、富来田地区にはコスモスロードを整備している方々がいます。その方々が歩く所や走れる所の情報を載せた地図を作ってほしいとおっしゃっていました。こうした意見が市の観光に結びついて実現されると、地域に関わっている方々の意欲が向上するかと思います。市長部局と連携し、教育の発表ができる場が増えると良いと思います。

## ○石井教育部参事兼中央公民館長

当日は、活発な意見が交わされていきました。それぞれ地域の中にまだ発見されていない木更津市の魅力がございます。あのときの学びをそれぞれの各公民館に持ち帰って、地域の方々と一緒になって公民館職員がマップを作成したり、冊子を作成したりし、公民館のロビーに展示できないかと考えております。この後一年かけて各公民館で地域の方々と一緒になって会議や話し合いをしながら木更津市の魅力を発信していけると考えております。あわせて3月に公民館研究集会の報告書ができますので、各部等に地域の声や地域活動団体の情報を提供し、市民の声を聞いていただくよう提案していきたいと考えております。

## ○高澤教育長

私も研究集会に参加させていただきましたが、地域の方が新しくできる道の駅に手巻きの海苔等の木更津の名産を置いていただけると評判になるという話をしていました。市長部局と連携を図っていただければと思います。



ほかにご意見等ございますでしょうか。

<意見なし>

なければ、その他を終了いたします。

それでは、事務局から次回の教育委員会会議につきまして、連絡をお願いいたします。

**○事務局**

次回、3月の定例教育委員会会議につきましては、3月23日（木）午後7時30分から市役所朝日庁舎会議室Fで開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

**○高澤教育長**

以上をもちまして、平成29年2月定例教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名人 教 育 長

委 員